



2024年9月30日

各位

会社名 株式会社メニコン
代表者名 代表執行役社長 COO 川浦 康嗣
(コード番号：7780 東証プライム市場・名証プレミアム市場)
問合せ先 執行役 総合統括本部長 CFO 古賀 秀樹
(TEL. 052-935-1646)

欧州市場における「Miru 1month Menicon multifocal toric」新発売のお知らせ

当社は、欧州市場において乱視と老視を矯正する機能を併せ持ったシリコーンハイドロゲル素材の1ヵ月定期交換コンタクトレンズ「Miru 1month Menicon multifocal toric」を2024年10月より順次発売することをお知らせいたします。現行の球面レンズ、トーリック(乱視用)レンズ、多焦点(遠近両用)レンズに加え、今回新たに多焦点トーリック(遠近両用乱視用)レンズがラインアップに加わることで、より多くの方の眼に合ったコンタクトレンズをご提供できるようになります。

本件に関する詳細につきましては、別紙ニュースリリースをご参照ください。

以上

2024年9月30日

「Miru 1month Menicon multifocal toric」 欧州市場新発売のご案内

株式会社メニコン（本社：名古屋市中区葵三丁目21番19号、代表執行役社長 COO：川浦康嗣）は、欧州市場において乱視と老視を矯正する機能を併せ持ったシリコンハイドロゲル素材の1ヵ月定期交換コンタクトレンズ「Miru 1month Menicon multifocal toric」を2024年10月より順次発売することをお知らせいたします。



2012年にMiru 1month製品ラインを国際市場に導入して以来、当社は革新的な製品を継続的に市場に導入してまいりました。現行の球面レンズ、トーリック(乱視用)レンズ、多焦点(遠近両用)レンズに加え、今回新たに多焦点トーリック(遠近両用乱視用)レンズがラインアップに加わることで、より多くの方の眼に合ったコンタクトレンズをご提供できるようになります。

高度な視力矯正に対する需要はかつてないほど高まっています。2021年に欧米7カ国において40歳以上のコンタクトレンズユーザー1,540人を対象に行われた調査では、半数近くが老視を自覚しながらも適切ではないレンズを使い続けているという事実が明らかになりました^{※1}。さらに、調査対象の3分の1は老視用のコンタクトレンズが存在することさえ知らなかったという事実も明らかになりました。さらに最近の研究では、55%の人が44歳頃に乱視の変化を経験していることが報告されています^{※2}。

老視と乱視の両方に対応した多焦点トーリックレンズ「Miru 1month Menicon multifocal toric」は、アクティブで充実したライフスタイルをサポートし、人々により良い視力を提供いたします。

「Miru 1month Menicon multifocal toric」は、多様なニーズに応えるため、最先端の技術で設計されています：

1. Progressive Visiostable Design™による移行性と安定性

近距離、中間距離、遠距離の間で、自然でスムーズな移行が可能のため、近くが見えにくい老視の方に適しています。さらに、高度なバラスト設計により、ガイドマークを確認する必要がなく、眼につけた瞬間に眼の中で安定しやすい設計となっています。

2. MeniSilk™と NanoGloss™による卓越した目の健康

MeniSilk™テクノロジーは、市販の使い捨てレンズの中でも高いレベルの酸素透過率を誇ります。また、精密な表面処理 NanoGloss™により、化粧品等由来の油脂汚れを防ぎ、清潔で快適にご利用いただけます。

「Miru 1month Menicon multifocal toric」レンズで、自由でクリアな視界を体験してください。詳細な仕様については、[製品ページ](#)をご覧ください。

製品ページ

<https://www.menicon.com/product/contact-lenses/view/miru-1month-multifocal-toric>

参考文献

※1 Menicon data on file, 2021

※2 Beesley J, and Elliott DB. Changes in ocular astigmatism with age: A longitudinal study. Ophthalmic Physiol Opt. 44(1):71-77, 2024